



2023年 8月 3日
第9号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

JR東日本が働き方“ブラック”企業 調査対象企業1万2026社なかでトップに

※DIAMOND onlineより

本日配信されたDIAMOND onlineに2023年上半期にネガティブな投稿が多かった企業として、そのトップ3が掲載され、働き方“ブラック”企業のトップに東日本旅客鉄道株式会社があげられました。

残業

パワハラ

要員不足



マイナズ

働き度の向上



賃金低下

投稿された内容としては、「**人手不足による残業の多さや、心身への負担の大きさを指摘する投稿などが目立つ**」とし、具体的には「**人員が減少し、以前より少ない人数で仕事しなければならず、体力的にも精神的にも限界**」「**人員不足のため、希望した休日はなかなか取れないし、シフト勤務なので休めず、現場の社員は高熱だろうが、這ってでも出社している**」。また待遇面では「**基本給が低く、賞与で調整する傾向にあるが、コロナ禍以降、賞与額が上がらず、不満を持つ人が多くなっている**」「**会社はさまざまな施策を打ち出しているが、賃金減少、待遇悪化、そして自己啓発活動の強要により、現場の疲労感がすごい**」というものです。

これらの投稿内容は、過日開催したJR東労組横浜地本大会や各支部大会でも多くの代議員から発言されましたが、現場から直接寄せられる社員の声と一致しています。現在JR東労組横浜地本では、大会発言に基づく申し入れを準備中です。不名誉な調査結果ではありますが現実として受け止め、JR東労組は、社員が安全で安心して働ける環境を実現するため団体交渉を通じ会社に改善を求めていきます！

社員が安全で安心して働き、お客さまに安全とよりよいサービスを提供するため、声を出せるJR東労組に結集しよう！